

会 議 録

- 1 会議名
阿賀野市犯罪のない安全で安心なまちづくり推進会議
- 2 開催日時
平成27年2月20日（金） 午前10時～午前11時20分まで
- 3 開催場所
水原総合体育館 ミーティングルーム
- 4 出席者（傍聴者を除く。）の氏名（敬称略）
 - ・委員長 樋熊征夫
 - ・委員 赤井田義紀、斉藤由春、上松浩二、小野里定男、荒木裕衛、桑原弘秀
本間正人、清野純一
(11人中9人出席)(事務局) 圓山総務部長、長川危機管理監、羽田地域安全係長
- 5 議題（公開・非公開の別）
 - (1) 平成26年の阿賀野市犯罪発生状況とその検証について（公開）
 - (2) 平成26年度阿賀野市防犯対策事業の取組み状況について（公開）
 - (3) 第3次阿賀野市犯罪のない安全で安心なまちづくり推進計画について（公開）
 - (4) その他（公開）
- 6 非公開の理由 なし
- 7 傍聴者の数 0人
- 8 発言の内容

委員長：委員長を務めさせていただきますが、よろしくお願ひします。

それでは、議事に入ります。なお、質問はそれぞれの説明後に受け付けます。

「(1) 平成26年度の阿賀野市犯罪発生状況とその検証」について、阿賀野警察署生活安全課長より説明していただきたい。

警察：阿賀野市の犯罪発生状況について。平成26年刑法犯認知件数は、県全体で16,424件、前年比-896件である。阿賀野警察署管内では、237件、前年比+10件である。内訳は、凶悪犯3件、粗暴犯（暴行・傷害等）22件、窃盗犯163件、知能犯（詐欺・横領等）8件、風俗犯（公然わいせつ等）1件、その他（器物損壊等）40件である。プラスに転じているのが、窃盗犯、粗暴犯、凶悪犯である。地区別の発生状況は、水原地区で約57%。安田地区で約15%を占めている状況。鍵かけ率は、全国の無施錠率で、新潟県の位置的状況を示すと、侵入盗全体に対して全国でワースト3位、無施錠率70%である。乗り物盗全体は、全国ワースト9位、無施錠率73%であった。乗り物盗の中でもオートバイ盗が全国ワースト1位、無施錠率70.2%だった。一方、当署管内で、確定値で侵入盗71.4%の無施錠率、乗り物盗84.8%の無施錠率、空き巣66.7%の無施錠率。乗り物盗について、オートバイ・自動車は、全て鍵つきという状況だった。去年より若干犯罪の件数が増えているが、その分、検挙も増えている状況だ。当署管内で捕まった泥棒が、当署管内で賽銭盗等を繰り返していたということで、当初被害届はなかったが、検挙ということで被害届を提出してもらい検挙も上がった。その為、11・12月で窃盗犯+10件と増えている状況だ。

特殊詐欺の発生状況は、昨年、県内全体で222件の特殊詐欺被害を認知している。前年比+58件。被害額は、7億608万円。前年比-2億3000万円だった。多いのが、+30件でオレオレ詐欺、+14件で架空請求詐欺・還付金詐欺だった。当署管内、昨年中前年比+3件となり、4件発生している。被害総額は327万円となっている。未然防止も成果が上がっており、新潟県警では6月から金融機関に対し、70歳以上の方が現金200万円以上を解約したいという申し出があった場合は、振り込みもしくは小切手を勧め、それでも、現金化を希望し不審点がある場合は、警察に通報するようお願いをしている。新潟県内においては、前年比プラス113件の224件の未然防止をしている。阻止額は、4億1000万円となっている。前年比より1億5000万円増額している。広報活動については、推進計画にも載っているが、市民を中心にチラシを配ったり、各種会合にお邪魔して防犯広報をしたり、一定の効果は上がっていると感じている。

少年の非行状況については、昨年中は16件、前年比+8件で倍になっている。少年事件については、窃盗犯が12件で、自販機ねらい・万引きが多い状況だった。今年度、中学校に「薬物乱用教室」ということで講話をしたが、それに併せて非行防止ということで、ゲートウェイ犯罪、初発型非行の防止の話もしている。

平成27年は、詐欺被害については0（ゼロ）ということで、目標を掲げて

いる。広報等々を活発にして、一人でも被害にあわないよう取り組んでいきたい。ご理解よろしくお願ひしたい。

委員長：今の説明について質問を求める。

委員：車上ねらいについて、無施錠率が高いので免許更新時の講習の時に防犯の啓発を組み込めないものか。

警察：免許更新については交通安全協会がやっているのて、免許の更新等に絡んでの広報は、今のところ実施していない。とてもいいアイデアなので検討したい。

委員：警察からの子ども向けの防犯講話の内容は、どのように話しているのか。

警察：学校側からは、薬物乱用のお話しをしてほしいと依頼がありますが、それに加え喫煙、飲酒、ネットトラブル、薬物、窃盗、捕まるところなるという具体的な流れをある程度突っ込んで話しをしている。

委員：万引き等、ゲーム感覚で遊び的要素が多いと思う。周りにどれだけ迷惑をかけるのかなど是非お話しいただきたい。親と子ども別々に防犯講話を聞く機会はあるが、親子で同じ話しを聞くことによって家庭で話し合うきっかけにもなるので、そのような機会があればいいと思う。

委員長：ご意見を踏まえ検討いただきたい。
続きまして「(2)平成26年度阿賀野市防犯対策事業の取組み状況について」事務局から説明していただきたい。

事務局：【資料に基づき説明】

委員長：今の説明について質問を求める。

委員：ながら防犯パトロールを実施していただき、小学校1年生の下校時間に合わせて教育委員会関係職員だけでなく、市役所職員が出て下校指導してくれているということで大変ありがたく思っている。あいさつ運動ののぼりも各学校10本位いただいておりますが、犯罪抑止になるので、防犯ののぼりや交通安全ののぼりも是非学校に配布いただけるとありがたい。

事務局：そのための予算計上はされていないが、可能な範囲で実施できるよう対応したい。

委員：5月と10月の運動期間中にのぼりを掲揚しているが、その期間以外のぼりはどうなっているのか。

事務局：倉庫に保管してある。交通安全ののぼりも同位置に掲揚しているので、防犯のぼりを通年立てるのは難しい状況の為、一旦撤去している。

委員：どんな場所でも継続は大事だと思う。町内の予算でのぼりを作り、1年中設置している。運動期間中強化して活動することも大事だと思うが、犯罪者は強化していない時を狙ってくるので、常にのぼりを掲揚し啓発活動を示すことは大切である。また、広報あがのについても強化月間だけでなく、毎月記事を掲載してはどうか。

事務局：掲載場所の選定、維持管理の問題もあるが検討していきたい。広報紙に関しては、記事の計画もあるので担当と相談したい。

委員：毎月特定日に掲揚するのもいいのでは。また、自治会にのぼりを渡して任せてみてはどうか。山手小学校では、自分たちでデザインして作ったようだ。愛着が湧き大切に作る。自分たちで作る、設置場所も自分たちで決めることにより、防犯意識も高まると聞いたので、ぜひ地区でも取り組むといいのでは。

委員：地域と学校の結びつきが必要である。いろいろな会議に出席しコミュニケーションをとりながら、地域を守っている。自治会に予算計上し、のぼり旗を作って設置している。地域での活動が浸透してきて、何か危険なことがあると情報提供があり、すぐに適切な対応できような連携がとれるようになってきた。防犯のぼりは、役員の敷地内で責任を持って設置している。

委員長：学校と地域の連携等も考えられるというご意見が多数寄せられた。その辺を参考にしながら、取組みを考えていくということをお願いしたい。

「(3) 第3次阿賀野市犯罪のない安全で安心なまちづくり推進計画について」事務局の方から説明していただきたい。

事務局：【計画(案)と概要版に基づき説明】

委員長：今の説明について質問を求める。

委員：防犯団体への補助金の件で、1団体上限5万円とあるが、これは発足の時に限りなのか。

事務局：発足の時に限り補助金を交付している。

委員：阿賀野市の予算としては、いくら計上しているのか。

事務局：年間30万円。上限5万円を交付したとして6団体分である。

委員：新規の団体が増え防犯活動が活発化しているのであればいいが、計上した補助金が残っている状況ならば、継続して活動している団体に2回以上交付する等、有効活用してほしい。

事務局：ここでは即答できないので、預からせていただきたい。

委員長：具体的には、どんな経費が必要か。

委員：消耗品（のぼり旗）・誘導棒など毎年一定の経費がかかってくる。活動延べ人数を、年間で割ると一人あたり3.5回/年になる。当団体は一人12回/年活動している。発足当初よりメンバーが半分に減ってしまった。

委員長：今の意見については、市の方で検討いただきたい。

委員：いろいろな考え方があるが、京ヶ瀬地区は各世帯から防犯活動協力費を集めて運動資金にしている。

委員：我々の地域でも“地域は地域で守る”といことで、地元の負担は仕方ない。

委員長：他の補助金を上手に使っていくという方法もある。例えば、赤い羽根共同募金の補助金などである。

委員：第2次阿賀野市犯罪のない安全で安心なまちづくり推進計画の目標達成状況については、市民に公表するということがよいか。

事務局：第3次阿賀野市犯罪のない安全で安心なまちづくり推進計画が公表されるのでその中で第2次の目標達成状況が記載されている為、公表されると考えていただきたい。

委員：第2次で目標が達成したのが安全安心メール登録者数だけ。第3次も明らかに難しい目標を設定している項目がある。最初から明らかに無理な目標を掲げるのではなく、もっと現実的で取り組みの成果が表れるような数値にした方がいいのでは。

委員：安全安心メールの登録はとても大事。配信されれば必ず意識するので、目標数値はこのままでいい。登録者数が増えればいい。

委員：どのように登録すればいいのか。

事務局：市のホームページからも登録できる。携帯から市のモバイルサイトに入ってもよい。QRコードを読み込むこともできる。いろいろな方法で登録が可能。それでも、なかなか難しいということであれば、メールアドレスを教えてください、直接登録も可能なので相談いただきたい。

委員：毎月の広報紙の一部に小さくてもいいので、登録案内を載せてはどうか。

事務局：2月のホームページ更新に伴い、URL・QRコードが変更になったので、併せて広報活動に努めていきたい。

委員：当団体では春・秋に防犯診断を実施に集落を決め各世帯をまわっている。田舎の場合屋敷が広く、無施錠の自動車が多い。地元地域名で車の未施錠により盗難に遭い、その車で死亡事故が起きたことがあり、所有者の管理責任を追及された事例がある。このようなことも含め文書PRを実施している。

委員長：各自治会がいろいろな方法で工夫して広報されているから、参考にしていきたい。

【閉 会】

以 上

9 問い合わせ先

総務課地域安全係

TEL：0250-62-2510（内線 262）

E-mail：somu@city.agano.niigata.jp